

新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル

コロナ禍の中で、「感染しない」「感染させない」ことを行動指針とする、新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアルを設定します。

- ・感染防止対策の重要性を十分に理解し、「感染しない」「感染させない」行動に徹する。
- ・3密状態（密閉空間・密集場所・密接場面）を避け、感染防止に努める。
- ・感染防止に必要な備品・消耗品のストック管理を徹底し、学生及び教職員の健康管理・維持、感染防止に努める。

1. 健康管理について

(1) 日常の健康管理

- ①自分の免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事に努め、規則正しい生活習慣を心がけてください。
- ②検温と毎日の健康チェック
毎朝体温を測り、自分の健康状態を「健康管理シート」に記録してください。
*体温計は各自で準備すること。

(2) 症状と対応

次の症状が現れた場合は、直接医療機関には行かず、かかりつけ医、もしくは地域の保健センター・保健所に相談し、結果を保健室（TEL:044-966-9211、e-mail:hoken@dcu.ac.jp）に報告してください。

参考（川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター TEL：044-200-0730 24時間受付）

（神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル TEL：045-285-0536 9時～21時）

（厚生労働省の電話相談窓口コールセンター TEL：0120-565653 9時～21時）

- ① 発熱・咳等の風邪の症状がみられる場合（大学に登校しないで自宅で療養してください。）
- ② 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱、味覚・嗅覚の異常感等の症状がある場合
※基礎疾患等のある方は、上記の状態が2日程度続く場合
- ③重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
※高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など）など）がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方
- ④上記以外の方で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合
（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

*なお、上記症状等で授業を欠席にするときは大学へ連絡してください。

（教学支援課 TEL：044-966-1306）

(3) その他の対応

症状の有無にかかわらず、次に該当する場合も地域の保健センターに相談し、指示を仰いでください。

- ①新型コロナウイルス感染症と確定した者と濃厚接触した
- ②新型コロナウイルス感染症の疑いがある者の気道分泌液、体液、糞便等の汚染物質に触った、それらの処理作業に携わった、あるいはそれらの近くにいた
- ③新型コロナウイルス感染症の疑いがある者を看護・介護した、あるいは同居した

2. 感染防止対策

(1) 手洗い、消毒、咳エチケット

- ①こまめな手洗い・アルコール消毒や咳エチケットを徹底し、必ずマスクを着用し、人ごみを避けるようにしてください。
- ②テーブルやドアノブ等に触った手で口、鼻、眼に触れないようにしてください。
- ③授業等で直接接触した器具等は、消毒液等で各自清掃を徹底してください。
- ④学生間での教科書・筆記用具の貸し借りを極力控えてください。

(2) 3密回避

3密状態を回避するために、次のような防止対策を徹底してください。

- ①密閉空間に対して： 室内の窓やドアを開け換気の徹底（1時間ごとに5～10分を目安）
- ②密集場所に対して： 他者との間隔・距離（ソーシャル・ディスタンス）確保（教室・トイレ・食堂等）
- ③密接場面对して： マスク・フェースシールド（ガード）の着用

(3) 廃棄物処理

マスクなど感染の恐れのある廃棄物はゴミ箱に捨て、その後必ず手を洗ってください。

.....

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々な情報がインターネットやSNS等で流れておりますが、その中には、事実と異なる情報が混ざっています。学生の皆さんは冷静な対応を心がけ、根拠のない情報に惑わされることのないようご注意ください。

なお、改めて言うまでもありませんが、感染者・濃厚接触者とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は断じて許されないものです。新型コロナウイルス感染症に関する適切な知識をもとに、偏見や差別につながるような行動は厳に慎んでください。